

メキシコ湾の BP のオイル流出がほぼ収まった状況で、沿岸部の被害状況の調査の報道がありましたので報告致します。

BP、連邦、州の合同チームで実施されています。

沿岸湿地の被害状況を調査し、復旧方法の計画策定とその費用を見積もることが目的です。費用は BP が持つことになっており、調査内容については、合意が得られているとのことですが、復旧方法と費用については今後の議論になりそうとのこと。

原文のサイトは以下の通りです。訳は以下の通りです。

<http://www.npr.org/templates/story/story.php?storyId=128952049>

National Public Radio

BP, Feds Comb Wetlands To Assess Spill Damage

BP と連邦は、オイル流出を評価するために、湿地を探索している。

by [Elizabeth Shogren](#)

August 3, 2010

ドラマが BP の Macondo 油井で終わる時にはいつでも、会社はまだ流出による環境被害について俎上にのせるであろうし、州、連邦、および BP 科学者のチームは、オイルが漂着している所についてのデータを熱心に集めている。

それらの目標は、どんな復元プロジェクトが、オイルが起こしているすべての被害を償うために必要である可能性があるかを理解することである。その後、政府は、どんなプロジェクトが必要であるかの計画を BP に示すであろう。BP は自身で復元し得るか、または、それが政府に、それらを扱うように依頼し得るかである。

「その時点で、私達は復元プロジェクトの価格をきめる」と **Tom Brosnan** (米国海洋大気庁の被害評価のコーディネーター)は言う。「従って、それはどちらの方法でも行うことができる」。

被害評価チームは、湿地と、干潟とビーチで 5 つの州に亘るデータを集めている。他のチームはサンゴ礁、カキ養殖場、およびより深い水性のハビタットを検査している。彼らは死んだ鳥と海の哺乳動物のためにビーチを探索していて、危惧種のウミガメのオイルで覆われた残骸を収集している。

BP と政府の役人は、現在よく協力しているが、すでに、政府が高価な復元プロジェクトの勘定を BP に手渡した後に発生する論争のきっかけがある。例えば、BP の請負者の **Bob Nailon** は、沼地の生態系を修理する最もよい方法は、それを放置しておくことであると言う。

Nailon は、オイルがニューオーリンズの湿地に漂着した所で、勤勉に記録していたチームの BP 代表である。彼と彼の政府の仲間は、彼らが収集しているデータについて合意しているが、必ずしも、沼地についての結果について合意していない。

それは、BP が負担するであろう額を定量化するには早すぎるが、湿地の復元は、会社が補償をするためにするたために行わなければならないであろうものの中心的な部分になるであろう。沿岸の湿地は、それらがハリケーンから人々を保護し、海の餌を湾に蓄えるので、特に貴重である。流出の前でさえ、ルイジアナは毎日湿地の面積を失っていた。

「どれくらい湿地が傷ついたか、そして被害は何であったか - それは本当に大きな問題であり、私達が作業中にその測定方法を持っていないならば、私達は、その全体の絵図を考え出すことができない」と、**Rich Takacs** (Nailon のチームの政府の代表である海洋大気庁の復元専門家)は言う。

A Hands-On Job

現地の仕事

熱指数が 110 度である最近の日に、Takacs、Nailon、およびルイジアナ州に代表は、Grand な島の真東の別の所の後に、オイルにまみれた湿地の区間で止まった。

ボートの上の彼のチームメイトに、「あなたは生きた **hermit crabs**(ヤドカリ)をつかまえた」と Nailon は叫ぶ。

チームメイトが 1 つの沼地の太ももの高さの草の中で油のしみを測定する時に、**Periwinkle dragonflies**(ツルニチニチソウトンボ)は Nailon のまわりで飛ぶ。

それは触覚の仕事である。手袋を着用した Nailon は、植物のオイルに触れて、彼の指をセディメントに突き刺す。オイルがより新鮮であるほど、それはよりねばねばしている - そして、被害をより及ぼしそうである。

Nailon はまた土壤に棒を押し。

「彼がそれをしている理由は、オイルが時には埋まっているか、それは時には下のセディメント表面の上にあるかもしれないからである。明らかに、あなたはこの泥水の中でそれを見ることはできないので、あなたがオイルの放出を見るかどうかを確かめるために、彼らは棒を突き下す。」と、彼自身のボートからチームを観察する米国海洋大気庁の **Brosnan** は言う。

オイルが土の中にしみこむならば、それが、それがちょっと植物の一部にしみをつける場合よりならばより草を殺す可能性が高いので、それは重要である。

何日もこれらのような調査をした後に、Takacs は、沼沢地の多くがオイルから免れているが、チームはオイルにまみれた湿地の多くの孤立した溜まりを見つけていると、言う。彼は、それは明らかに、水位が高い時に岸に来る BP のオイルが、高水が低下する時に沼沢地の上に定着するかたまりのマスで留まっているためであると、言う。

「あなたがすべてのそれらの小さなスポットを合計した時に、それは、非常に大きな量になるであろう」と Takacs は言う。

彼は、さらに、最悪事態はまだこれからであるかもしれないと付け加える。

「私達は、被害の大部分がもう起こったかどうかを知りさえしない。沖合にまだ、恐ろしくたくさんのおイルがある」と Takacs は言う。

Takacs は、沼沢地のいくつかが回復するであろうと予測するが、BP は、一時的な影響でさえ償う責任があるであろう。

「沼地が再び健全になるまで、それがその完全な持てる力を出さないのです。沼地が、草がたぶん枯れるであろうポイントまで傷ついた所に、他のケースがある – 沼沢地は侵食されて、消えさえする可能性がある」と Takacs は言う。

BP の Nailon はより楽観的である。

「母なる自然は、このようなエピソードから回復するすばらしい道を持っていて、それは物の世界の終わりのようなものではない」と Nailon(湿地の科学者)は言う。



Elizabeth Shogren/NPR

「国家資源被害評価チーム」は、この湿地のどこにオイルが漂着したかを検査している。チームは、左から：BP を代表する Bob Nailon と Charles Johnson ; NOAA の Rich Takacs ; 及び、ルイジアナ州を代表する Chris Grant



Elizabeth Shogren/NPR

Nailon の手袋は、彼の指を土壤の中に突っ込んだ後にオイルにまみれている。オイルが沼沢地の土壤にしみこんだ時に、植物は枯死により脆弱になる。